

2015 年 4 月 21 日

メディアリリース

本資料は 4 月 21 日にチューリッヒで発表されたメディアリリースの翻訳版です

2015 年第 1 四半期における力強く着実な業績と、戦略的施策の進捗

- ・ 公表純利益は 11 億 CHF、前年同期比 23%増加
- ・ ウェルス・マネジメント顧客事業の-marginと利益の改善による力強い業績
- ・ インベストメント・バンキング部門の戦略的事業の着実な収益。販売及び取引業務は市場のボラティリティ上昇の恩恵を享受
- ・ レバレッジがさらに大幅に削減、目標達成に向けて順調に推移
- ・ スイス国立銀行(スイス中央銀行)発表後の通貨及び金利環境の変化の影響は、緩和策と市場活動の改善によって限定的

2015 年 4 月 21 日に発表されたクレディ・スイス・グループの 2015 年第 1 四半期の業績は、力強く着実なものでした。プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の業績には、特にウェルス・マネジメント顧客事業の力強い業績が貢献しました。インベストメント・バンキング部門の業績は、販売及び取引収益の増加を反映した一方で、引受及びアドバイザー業務の出足には鈍いものがありました。

最高経営責任者(CEO)のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べました。「当四半期は、力強く着実な業績を再度達成しました。ウェルス・マネジメント顧客事業の業績は特に力強く、marginが改善するとともに、利益率が向上し、主要成長地域からの正味資産流入額も好調でした。非常に多様化したインベストメント・バンキング・フランチャイズでは、さらに大幅なレバレッジ解消にもかかわらず、着実な戦略的事業の業績を達成し、規制資本利益率は 19%となりました」。

「スイス国立銀行(スイス中央銀行)の発表後の通貨及び金利環境の変化に対する当グループの迅速で前向きな対応に、市場活動の改善が相まって、業績に対する影響が緩和され、ウェルス・マネジメント顧客事業の収益増加につながりました」。

「第 2 四半期に入ってから、事業のモメンタムは第 1 四半期から引き続いており、引受及びアドバイザー業務が改善傾向にあります。クレディ・スイス・グループは資本とレバレッジの目標に引き続きコミットしており、今後 2015 年中の戦略的施策の実行にさらなる進捗が見込まれます」。

主要コア業績ハイライト

	1Q15	4Q14	期／期末 1Q14	増減率(%) QoQ	YoY
公表業績 (単位: 表示がないものは百万 CHF)					
純収益	6,673	6,376	6,469	5	3
継続事業からの税引前利益	1,538	901	1,400	71	10
株主帰属純利益	1,054	691	859	53	23
自己資本利益率(%)	9.9	6.2	8.0	-	-
戦略的事業業績 (単位: 表示がないものは百万 CHF)					
純収益	6,590	6,000	6,530	10	1
継続事業からの税引前利益	1,822	1,449	1,944	26	(6)
株主帰属純利益	1,235	1,155	1,404	7	(12)
自己資本利益率(%)	12.0	10.9	14.0	-	-
非戦略的事業業績 (単位: 百万 CHF)					
株主帰属純損失	(181)	(464)	(545)	(61)	(67)

注: 上記コア業績には、重要な経済的持分を持たない非支配持分は含まれておりません

公表業績の改善と、非戦略的事業ユニットの一層の縮小

- ・ 株主帰属純利益は前年同期比 23%増

当四半期のコア税引前利益は 15 億 3,800 万 CHF と前年同期比 10%増となり、自己資本利益率は 10%となりました。株主帰属純利益は前年同期の 8 億 5,900 万 CHF に対して当四半期は 10 億 5,400 万 CHF となりました。

公表コア純収益は前年同期比で若干増加しましたが、これはインベストメント・バンキング部門とコーポレート・センターの戦略的事業の純収益の増加を反映する一方で、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の純収益の大幅減少により一部相殺された結果です。非戦略的事業の純収益は、前年同期のマイナス 6,100 万 CHF に対して当四半期は 8,300 万 CHF となりました。

両部門における着実な力強い戦略的事業の業績

- ・ プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の業績は特に力強く、マージン改善を含むウェルス・マネジメント顧客事業が特に大きく貢献
- ・ インベストメント・バンキング部門の戦略的事業の業績は、大幅なレバレッジ削減にもかかわらず収益が微増し、多様化したフランチャイズの強さを反映
- ・ 両部門共に、アジア太平洋地域の高成長が持続

クレディ・スイス・グループは、2013 年末から、公表業績に加えて戦略的事業と非戦略的事業を分けて開示してきました。戦略的事業の業績は、クレディ・スイス・グループが今後も注力すると計画している事業を網羅している一方で、非戦略的事業の業績は、縮小または撤退を計画している事業を含んでいます。この追加的開示によって、投資家は非戦略的事業によるマイナスの影響を取り除いたクレディ・スイス・グループの事業動向を理解することができます。

当四半期の戦略的事業では、税引前利益が 18 億 2,200 万 CHF、株主帰属純利益は 12 億 3,500 万 CHF となりました。前年同期の戦略的事業は、税引前利益が 19 億 4,400 万 CHF、株主帰属純利益は 14 億 400 万 CHF でした。当四半期の戦略的事業の自己資本利益率は、景気サイクルを通じたクレディ・スイス・グループの目標値 15%に対し、12%でした。

部門別の戦略的事業の業績に関する詳細は、以下のプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門とインベストメント・バンキング部門に関する業績についての記述をご覧ください。

主要成長地域:クレディ・スイス・グループは引き続き主要成長地域における強固な地位にレバレッジをきかせ、またこれを拡大しています。アジア太平洋地域は、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門とインベストメント・バンキング部門の両方において引き続き成長の力強い牽引役であり、クレディ・スイス・グループ全体の収益の 16%に寄与しています。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門

	期／期末			増減率(%)	
	1Q15	4Q14	1Q14	QoQ	YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)					
純収益	2,972	3,226	3,240	(8)	(8)
貸倒引当金繰入額	29	42	33	(31)	(12)
従業員報酬及び給付費用	1,229	1,265	1,290	(3)	(5)
その他の営業費用合計	880	1,037	905	(15)	(3)
営業費用合計	2,109	2,302	2,195	(8)	(4)
税引前利益	834	882	1,012	(5)	(18)
指標(%)					
規制資本利益率	21.0	24.9	31.0	-	-
費用／収入比率	71.0	71.4	67.7	-	-

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門-戦略的事業業績

	期／期末			増減率(%)	
	1Q15	4Q14	1Q14	QoQ	YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)					
純利息収入	981	985	963	0	2
経常手数料収益	1,067	1,177	1,139	(9)	(6)
トランザクション及びパフォーマンス・ベースの収益	922	976	919	(6)	0
その他の収益	0	68	10	(100)	(100)
純収益	2,970	3,206	3,031	(7)	(2)
貸倒引当金繰入額	25	39	17	(36)	47
営業費用合計	2,007	2,160	2,049	(7)	(2)
税引前利益	938	1,007	965	(7)	(3)
指標(%)					
規制資本利益率	24.3	29.8	31.6	-	-
費用／収入比率	67.6	67.4	67.6	-	-

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門:戦略的事業の利益率の改善

- ・ ウェルス・マネジメント顧客事業は、マージンと利益率が回復して好調な業績
- ・ 新規純資産は主要成長地域における資産流入に牽引され、170 億 CHF と好調
- ・ デジタル・プライベート・バンキング・プラットフォームと新たな投資運用委託サービスの提供開始

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の当四半期の純収益は 29 億 7,200 万 CHF、税引前利益は 8 億 3,400 万 CHF となりました。プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の税引前利益は 9 億 3,800 万 CHF となりましたが、これはウェルス・マネジメント顧客事業の顧客活動が活性化したこととアセット・マネジメント事業の収益減少によるものです。戦略的事業の規制資本利益率は 24%となりましたが、これは着実な収益と、効率性改善が継続的に進展したことを反映しています。規制資本利益率は過去の四半期と比較して低下しており、これは規制環境の変化の中で要求される高い資本要件を勘案して、当四半期に計算方法が変更されたことを反映しています。

ウェルス・マネジメント顧客事業のネット・マージンは 30 ベーシス・ポイント(bp)となりました。ネット・マージンは前年同期比で 1bp 上昇しており、収益の増加と費用の減少を反映しています。ネット・マージンは、前四半期からは 3bp 上昇しており、主に外国為替の影響による期中平均運用資産の減少の恩恵を受けました。ウェルス・マネジメント顧客事業の純利息収入は、低金利環境にもかかわらず、緩和策の実施と、クレディ・スイス・グループの貸出プログラムの累積的な貢献の結果として、増加しました。

プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の戦略的事業の当四半期の新規純資産は 184 億 CHF となりました。そのうち 70 億 CHF がウェルス・マネジメント顧客事業によるもので、アジア太平洋地域、米州及びスイスで多額の資産が流入しました。プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の当四半期の新規純資産総額は 170 億 CHF で、これは資産基盤の継続的な組織化に伴う 14 億 CHF の流出を含んでいます。

当四半期において、プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門の非戦略的事業のリスク加重資産とレバレッジ削減は、予定より早く 2015 年末の目標に達しました。非戦略事業の税引前損失は 1 億 400 万 CHF で、主に事業の縮小を反映して収益と営業費用が減少しました。

戦略的施策: プライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント部門は、当四半期中にその成長施策を成功裏に執行しました。スイスと海外の一部市場において、クレディ・スイス銀行は、「クレディ・スイス・インベスト」という新たなアドバイザー・サービスを開始しました。同サービスは、お客様に対する柔軟性と透明性の改善に焦点を当てています。これは、投資運用委託サービスのさらなる普及向上策の一環であり、当四半期中の販売のモメンタムは力強く、今後も続く予想されます。

クレディ・スイス・グループは、2013 年から超富裕層顧客に対する貸出プログラムを拡張してきました。貸出の伸びは当四半期に鈍化したものの、全ての地域で増加して 39% 増となりました。

さらに、デジタル社会の発展を勘案して、クレディ・スイス・グループは、最先端のプライベート・バンキング業務のデジタル・プラットフォームを開発し、既にシンガポールで開始されたサービスは成功を収めています。クレディ・スイス・グループは、このプラットフォームを用いて、提供するサービスの向上と、顧客に対する一段のアクセス向上を目指しています。

インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門

	期/期末			増減率(%)	
	1Q15	4Q14	1Q14	QoQ	YoY
公表業績 (単位:百万 CHF)					
純収益	3,583	2,454	3,416	46	5
貸倒引当金繰入額	1	30	0	(97)	-
従業員報酬及び給付費用	1,552	1,179	1,521	32	2
その他の営業費用合計	1,085	1,510	1,068	(28)	2
営業費用合計	2,637	2,689	2,589	(2)	2
税引前利益/(損失)	945	(265)	827	-	14
指標(%)					
規制資本利益率	15	-	13.6	-	-
費用/収入比率	74	109.6	75.8	-	-

インベストメント・バンキング部門－戦略的事業業績

	期／期末			増減率(%)	
	1Q15	4Q14	1Q14	QoQ	YoY
戦略的事業業績 (単位:百万 CHF)					
債券引受業務	332	307	468	8	(29)
株式引受業務	153	205	183	(25)	(16)
引受業務合計	485	512	651	(5)	(25)
アドバイザー及びその他の報酬	132	238	180	(45)	(27)
引受及びアドバイザー合計	617	750	831	(18)	(26)
債券販売及び取引	1,732	850	1,586	104	9
株式販売及び取引	1,344	1,231	1,206	9	11
販売及び取引合計	3,076	2,081	2,792	48	10
その他	(67)	(83)	(83)	(19)	(19)
純収益	3,626	2,748	3,540	32	2
貸倒引当金繰入額	1	14	0	(93)	-
営業費用合計	2,510	2,155	2,412	16	4
税引前利益	1,115	579	1,128	93	(1)
指標(%)					
規制資本利益率	18.6	9.9	20.7	-	-
費用／収入比率	69.2	78.4	68.1	-	-

インベストメント・バンキング部門:戦略的事業の着実な業績とレバレッジの大幅な削減

- 平均レバレッジ・エクスポージャーを 3%と想定した規制資本利益率は 19%と高水準、多様化されたフランチャイズの一貫性が寄与。
- レバレッジ・エクスポージャーは、戦略的事業と非戦略的事業の両方にわたって、当四半期に 970 億米ドル減少。

インベストメント・バンキング部門の純収益は 35 億 8,300 万 CHF、税引前利益は前年同期比 14%増の 9 億 4,500 万 CHF となりました。さらに、インベストメント・バンキング部門の戦略的事業及び非戦略的事業にわたって引き続き資本効率改善に向けた進展を見せました。2014 年末と比較すると、同部門のレバレッジ・エクスポージャーは 970 億米ドル減少して 6,970 億米ドルとなりました。これは、新たな BCBS の枠組みへの移行、緩和後の評価基準及び計画した削減の着実な進捗を反映しています。米ドル建てのリスク加重資産は前四半期比で若干増加しており、これはリスク加重資産の計算上の増加が事業の縮小を相殺したためです。

戦略的事業の税引前利益は 11 億 1,500 万 CHF で、若干増加した収益を反映して前年同期比ほぼ横ばいとなりました。債券販売及び取引業務の収益は、特にグローバル・マクロ商品と新興国市場における顧客活動の活発化によって、前年同期比で若干改善しました。株式販売及び取引業務の収益は好調で、これは一段と有利な取引環境と市場シェアの維持を反映しています。好調な販売及び取引業務は、アドバイザーの市場シェア低下で年初の出足が悪かった引受及びアドバイザー業務の減速を相殺しました。前年同期比では、営業費用合計はスイスフラン建てでは増加しましたが、期中平均でみたスイスフランの対米ドル安という外国為替の影響を反映して米ドル建てでは減少しました。

インベストメント・バンキング部門の当四半期の非戦略的事業は、税引前損失が 1 億 7,000 万 CHF で、純収益も 4,300 万 CHF のマイナスとなりました。純収益のマイナス額は、主にレガシー債券ポートフォリオの評価益、積極的なポートフォリオ管理戦略及び資金調達コストの低下により、前年同期比で縮小しました。

資本、レバレッジ及び費用

資本・レバレッジ指標

期末現在	段階的实施		ルックスルー	
	1Q15	4Q14	1Q15	4Q14
BIS 基準資本比率(%)				
CET1 比率	13.8	14.9	10.0	10.1
Tier 1 比率	16.5	17.1	14.0	14.0
自己資本比率	20.0	20.8	16.4	16.5
レバレッジ指標(表示がないものは%)				
レバレッジ・エクスポージャー(十億 CHF)	1,108.6	1,157.6	1,102.7	1,149.7
BIS CET1 レバレッジ比率	3.6	3.7	2.6	2.5
BIS tier 1 レバレッジ比率	4.3	4.3	3.6	3.5
スイス国内レバレッジ比率	5.2	5.2	4.2	4.1

レバレッジのさらなる削減と、持続的な力強い資本創造

- ・ レバレッジ削減における持続的な進捗、年末の目標に向けて順調に推移。
- ・ ルックスルー CET 1 比率は 10%。

近年、規制の着眼点は、より厳しいレバレッジ要件において求められる規制資本の非加重資産に移行してきました。これらの一段と厳格な要件を遵守するために、レバレッジ・エクスポージャーを大幅に削減する計画を策定しました。

2月に発表したように、クレディ・スイス・グループの2015年末のレバレッジ・エクスポージャー目標を、為替調整後ベースで9,600億から9,900億CHFへ修正しました。2015年末の目標を、ルックスルーのスイス国内レバレッジ比率で4.5%、ルックスルーのBIS tier 1レバレッジ比率で約4.0%、そのうちCET 1比率で約3.0%としています。

当四半期に、クレディ・スイス・グループはレバレッジ・エクスポージャーをさらに950億CHF削減しました。これは主にインベストメント・バンキング部門が牽引しましたが、収益に対する削減の影響は限定的でした。削減は、新たなBCBSのレバレッジ枠組みへの移行による好影響も反映しています。当四半期末のルックスルーのスイス国内レバレッジ比率は4.2%、ルックスルーのBIS tier 1レバレッジ比率は3.6%、そのうちCET 1比率は2.6%となりました。

銀行の株主資本を計る別の重要な指標は、ルックスルーのCET 1比率であり、当該比率は2019年完全適用に対応したものです。当四半期末時点のルックスルーCET 1比率は10%で、2014年末を若干下回りました。これは外国為替の影響、従業員株式報酬制度のための季節的な株式購入並びに規制上及び任意の手法の変更によるリスク加重資産への影響が原因でした。

2011年以降で36億CHFのコスト削減を達成

- ・ 2015年末のコスト削減目標を40億CHFから42億5,000万CHFの間へ修正。

2011年に始まった費用削減プログラムにより、クレディ・スイス・グループは、当四半期末時点で約36億CHFのコスト削減を達成しました。2015年末までに一段とコストを削減し、年末までに40億CHFから42億5,000万CHFに達すると見込まれます。しかし、両部門にわたるリスク、コンプライアンス及び規制コストの増加による逆風も予想されます。また、クレディ・スイス・グループは、プライベート・バンキング&ウェルス・マネジメント部門におけるスイスフラン建ての費用及び収益基盤のバランスを見直すことで、2017年末までに約2億CHFの更なるコスト削減の達成に向けて引き続き注力してまいります。